

令和6年度 秦野市上下水道事業会計決算の概要

～おいしい秦野の水と清らかに輝く名水の里ひきつごういつまでも～

安全でおいしい水道水の供給（水道）

安定した汚水処理と浸水対策のさらなる推進（公共下水道）

適切な資産管理と施設維持の強化

災害に強い施設や体制の構築

健全経営のための基盤の強化

【令和6年度決算のポイント】

※この資料は、金額の端数処理を行っているため、決算書の値と一致しない場合があります。

①収支の概要

《水道事業》

有収水量の減少が続く中、維持管理費や減価償却費など営業費用が増となったものの、料金改定による給水収益の増により2億6,456万円の純利益を確保（税抜き）

《公共下水道事業》

有収水量の減少が続く中、維持管理費や減価償却費など営業費用が増となったものの、企業債利息の減や、料金改定による下水道使用料の増により4億4,290万円の純利益を確保（税抜き）

②財政状況（企業債残高）

水道事業及び公共下水道事業ともに、プライマリーバランスを確保しつつ企業債を活用し、計画的に施設の整備を進めています。

《水道事業》

令和6年度末残高は約65億2,750万円で前年度に比べ35万円減少

《公共下水道事業》

令和6年度末残高は約238億9,306万円で前年度と比べ16億7,846万円減少

【水道事業】損益計算書の概要

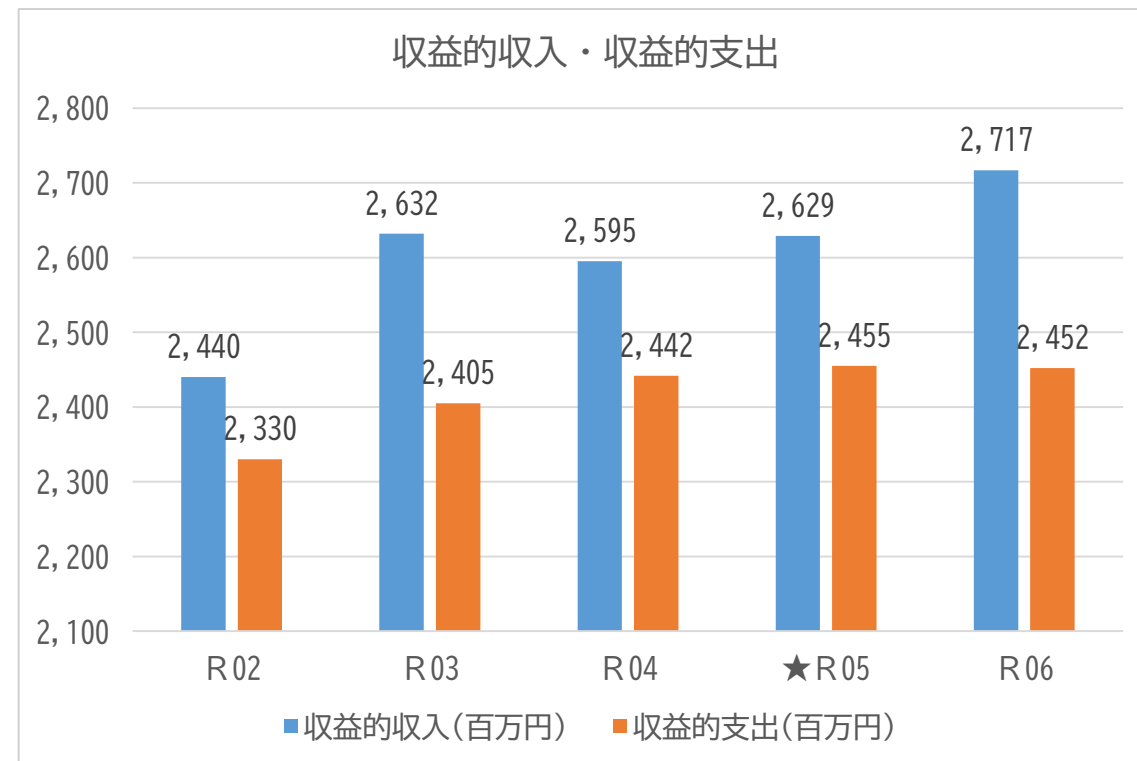
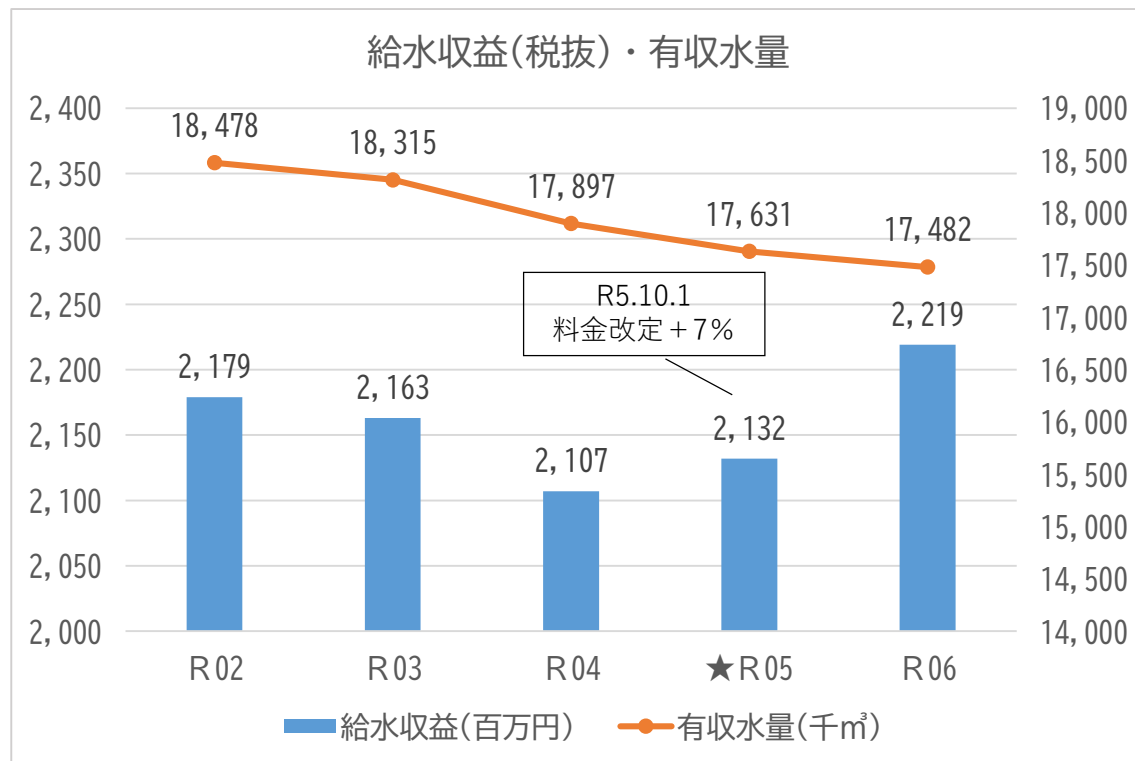
損益計算書…その企業の1年間における経営成績を示す決算書類

収益的収支 前年度比較（消費税抜き）

単位：百万円

収益・費用	6年度	5年度	増減	主な増減理由
営業収益	2,275	2,186	89	
給水収益	2,219	2,132	87	料金改定による水道料金の増
その他	56	54	2	その他の営業収益の実績に伴う増
営業外収益	442	430	12	
水道利用加入金	147	120	27	
長期前受金戻入	203	202	1	
その他	92	108	-16	雑収益の実績に伴う減
特別利益(過年度損益修正益等)	1	14	-13	過年度損益修正益の減
収益合計	2,718	2,630	88	
営業費用	2,354	2,342	12	
維持管理費等	1,439	1,428	11	原水浄水費(修繕費及び動力費)及び総係費(委託料)の増
減価償却費	901	893	8	
その他	14	21	-7	資産減耗費の減
営業外費用(支払利息等)	97	100	-3	企業債利息の減
特別損失(過年度損益修正損等)	1	1	0	
費用合計	2,452	2,443	9	
収益－費用	266	187	79	

【水道事業】 給水収益・有収水量及び収益的収支の推移



給水収益は、有収水量の減少に伴い減少傾向にあるものの、料金改定により増収となりました。また、収益的支出が増加傾向にある中、給水収益の増により純利益は増額となりました。

【水道事業】資本的収支の概要

損益勘定留保資金…減価償却費などの現金支出を必要としない費用の計上により留保される資金

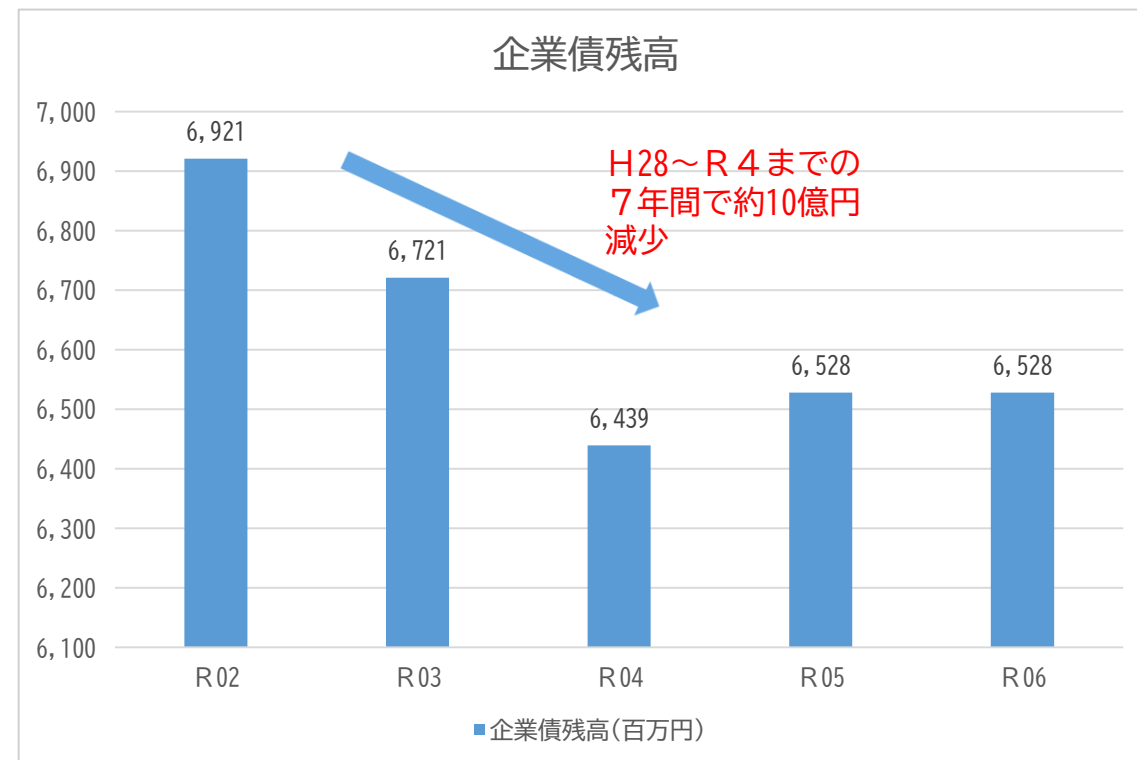
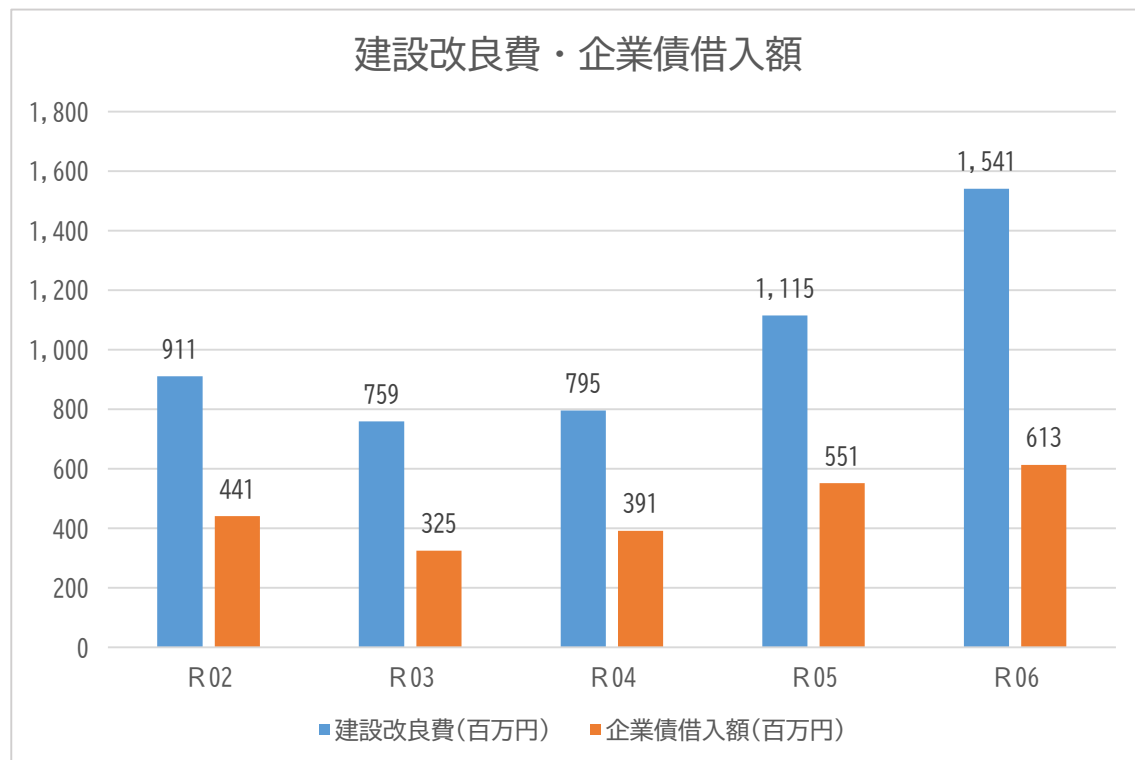
資本的収支 前年度比較（消費税込み）

単位：百万円

収入・支出		6年度	5年度	増減	主な増減理由
資本的収入	企業債	613	551	62	建設改良費の増加に伴う増
	工事負担金	14	13	1	一般会計負担工事の増
	補助金	158	86	72	生活基盤施設耐震化等補助金の増
	その他	0	0	0	
収入合計		785	650	135	
資本的支出	建設改良費	1,541	1,115	426	工事請負費の増
	企業債償還金	613	570	43	
	その他	6	23	-17	基金積立金の減
支出合計		2,160	1,708	452	
収入－支出		-1,375	-1,058	-317	

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は損益勘定留保資金等により補てん。

【水道事業】 財政状況



企業債については、施設整備計画に基づく整備に合わせて、プライマリーバランスを確保しながら計画的に活用しています。

企業債残高は、R 4年度までの7年間で約10億円減少しています。4年度からは、建設改良費の増に伴って借入額が増加しています。

※プライマリーバランス…企業債の借入額が返済額を上回らない状態

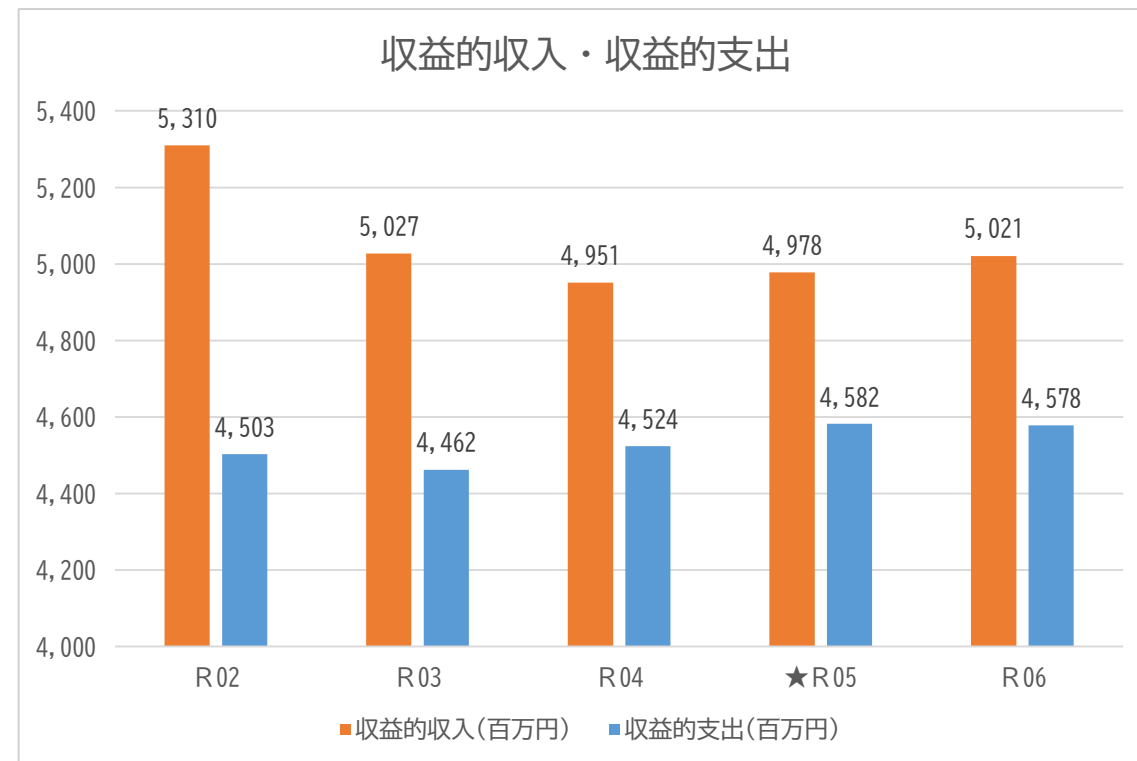
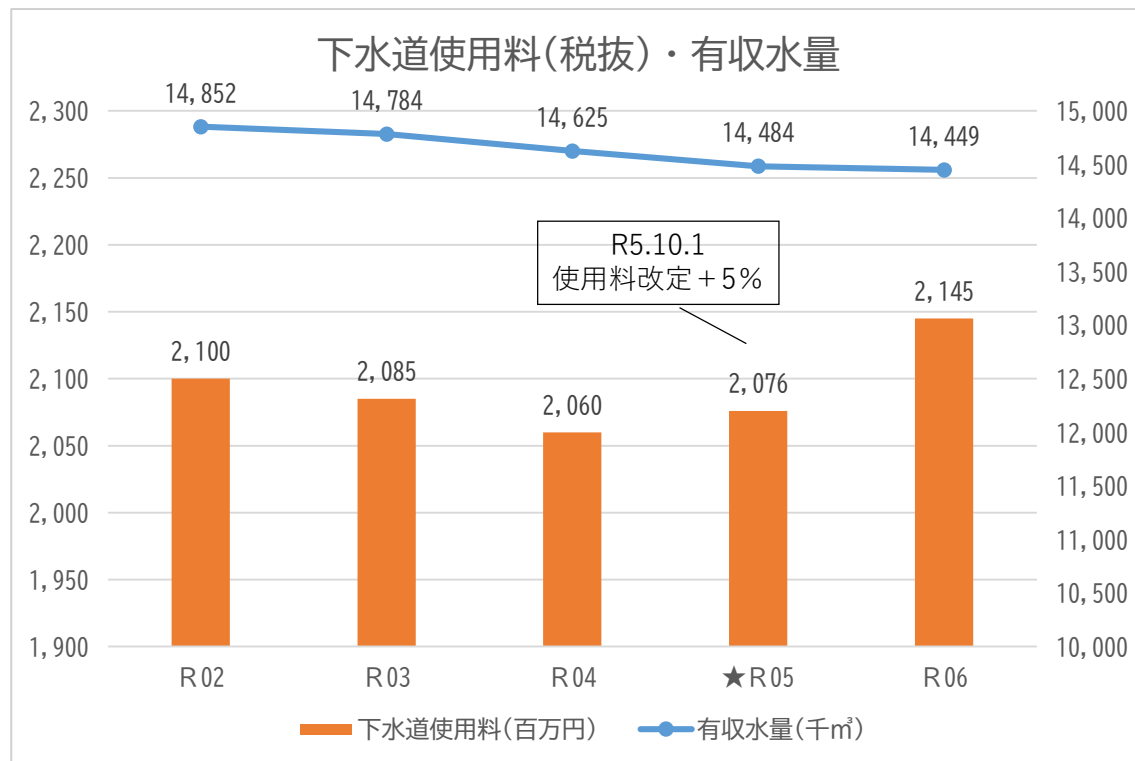
【下水道事業】損益計算書の概要

収益的収支 前年度比較（消費税抜き）

単位：百万円

収益・費用	6年度	5年度	増減	主な増減理由
営業収益	2,748	2,675	73	
下水道使用料	2,145	2,076	69	料金改定による下水道料金の増
雨水処理負担金	467	487	-20	
受託事業収益	109	84	25	
その他	27	28	-1	
営業外収益	2,270	2,303	-33	
他会計補助金	1,152	1,160	-8	一般会計繰入金(雨水処理分)の減
長期前受金戻入	1,079	1,088	-9	
その他	39	55	-16	補助対象事業の完了による国庫補助金の減
特別利益(過年度損益修正益等)	2	1	1	過年度損益修正益の増
収益合計	5,020	4,979	41	
営業費用	4,217	4,188	29	
維持管理費等	1,644	1,608	36	処理場費(委託料)及び受託事業費(工事請負費)の増
減価償却費	2,561	2,537	24	
その他	12	43	-31	資産減耗費の減
営業外費用(支払利息等)	354	393	-39	企業債利息の減
特別損失(過年度損益修正損等)	6	2	4	その他特別損失の増
費用合計	4,577	4,583	-6	
収益－費用	443	396	47	

【下水道事業】 下水道使用料・有収水量及び収益的収支の推移



使用料収入は、有収水量の減少に伴い減少傾向にあるものの、料金改定により増収となりました。また、収益的支出が増加傾向にある中、使用料収入の増により純利益は増額となりました。

【下水道事業】資本的収支の概要

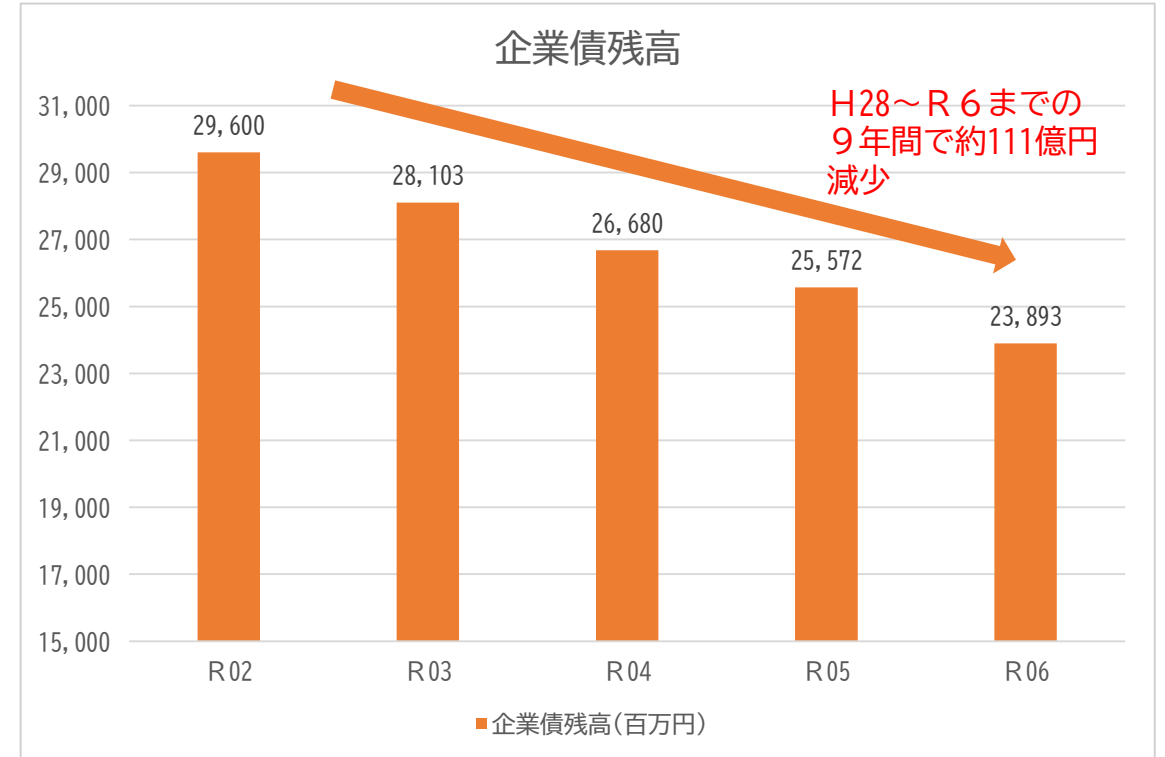
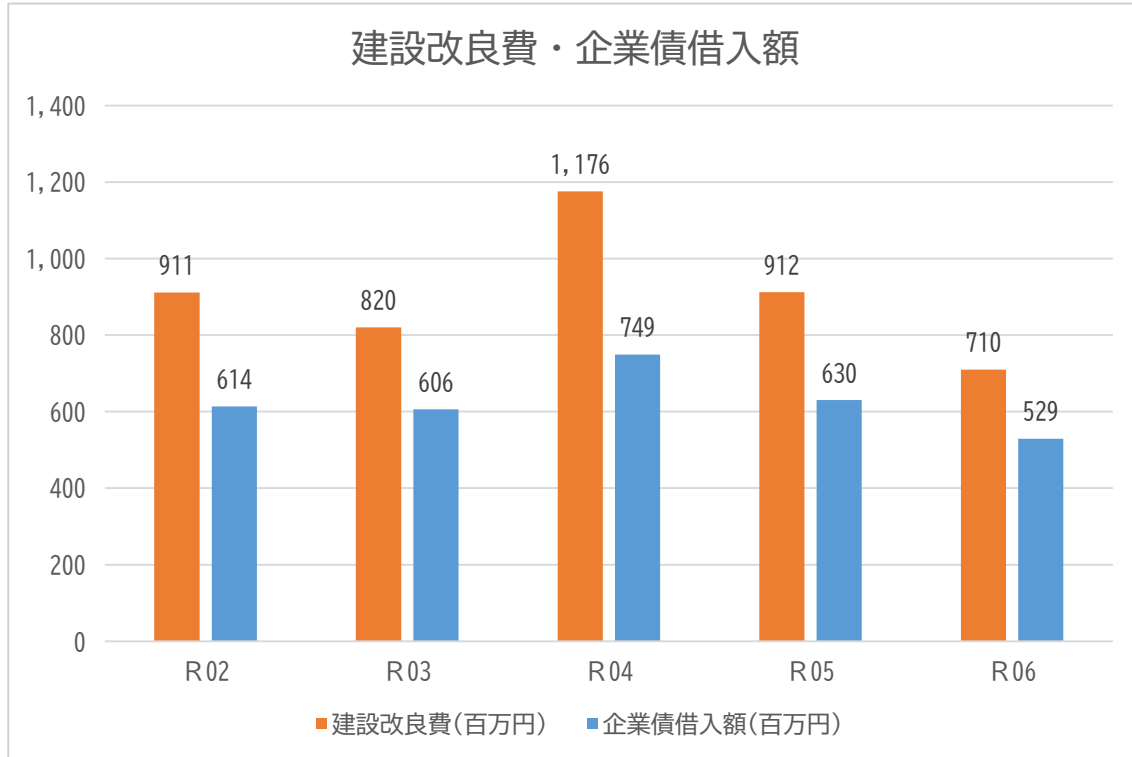
資本的収支 前年度比較（消費税込み）

単位：百万円

収入・支出		6年度	5年度	増減	主な増減理由
資本的収入	企業債	529	630	-101	建設改良費の減少に伴う減
	補助金	96	146	-50	補助対象事業費の減少に伴う減
	その他	13	18	-5	污水管きよ整備に伴う受益者負担金の減
収入合計		638	794	-156	
資本的支出	建設改良費	710	912	-202	工事請負費の減
	企業債償還金	2,054	2,023	31	
	その他	0	0	0	
支出合計		2,764	2,935	-171	
収入－支出		-2,126	-2,141	15	

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は損益勘定留保資金等により補てん。

【下水道事業】財政状況



企業債については、施設整備計画に基づく整備に合わせて、プライマリーバランスを確保しながら計画的に活用しています。

企業債残高は、R 6 年度までの9年間で約111億円減少しています。

※プライマリーバランス…企業債の借入額が返済額を上回らない状態